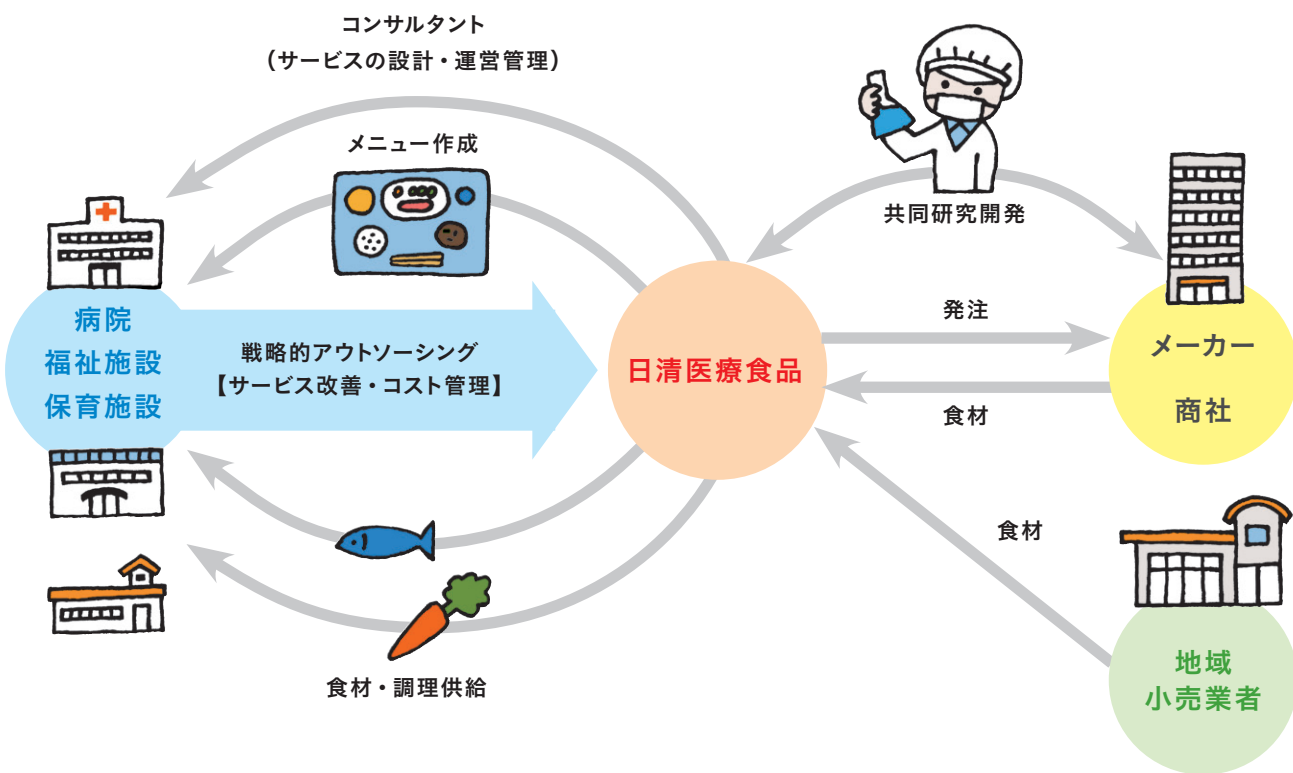


医療・福祉関連施設の皆様をはじめ、
健康を願う多くの人々に、安全・安心な食事サービスを
1日3食・365日欠かさず、
食のよろこびとともに提供し続ける。
——それが日清医療食品のCSR(企業の責任)です。



「お客様の信頼と満足を得る 心のこもった食事サービスを提供する」——。

日清医療食品は、毎日の食事サービスを医療機関や介護・福祉関連施設に提供し続けることで、計画的な治療活動、効率的な事業運営の手助けをしています。

食事サービスの提供にあたっては、食材の仕入れ段階から配膳まで一貫した品質管理体制を構築。

安全・安心な食事を提供することはもちろん、常に現場を重視して、

患者様や入所者の皆様一人ひとりの健康維持・快復、QOL向上に向けた栄養バランスのとれた食事を、季節感などの食べる楽しみとともに提供しよう努めています。

さらに、2012年4月からは、培ってきた栄養管理、品質管理、献立の豊富さなどのノウハウを活かして、自宅で過ごす方々に食事をお届けする「食宅便」サービスを開始しています。

日清医療食品は、
4つの視点でCSR活動を推進しています。

視点 1



「安全・安心な食」をお届けするために

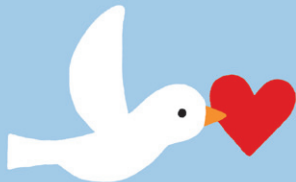
仕入れ商品の安全・安心

「食の安全・安心」を脅かす事故が相次ぐなか、食品関連企業に対する人々の視線は厳しさを増す一方です。日清医療食品は、食のなかでも最も安全・安心が求められる医療・福祉向けの食事を提供する企業として、食材の仕入れ段階から厳しいチェックの仕組みを構築しています。

厨房での安全・安心

食材の品質管理体制をどんなに整備しても、実際に調理を担うご契約先事業所での衛生管理が確実に実行されなければ、食の安全・安心への責任は果たせません。そこで日清医療食品は、ご契約先事業所の衛生管理活動を全社でサポートする体制を確立しています。

視点 2



三度の食事を365日、
欠かすことなくお届けするために

東日本大震災の発生から、日清医療食品では、どんな非常事態に陥ってもお客様の命をつなぐ「食事」をお届けするために、震災の教訓を活かした地震対策マニュアルを定めるとともに、災害対策訓練を実施するなど事業継続のための施策を強化し続けています。

視点 3



健康維持・QOL向上を
「食のよろこび」とともに

日清医療食品が食事サービスを提供する医療・福祉・保育施設では、施設を利用される一人ひとりの体調や健康を考えた専門的なメニューが求められます。また同時に、食事本来のおいしさや豊かさもおろそかにすることはできません。日清医療食品は、健康維持やQOLを向上させる「一人ひとりにふさわしい食」を考え続けています。

視点 4



より多くの人々の
「健康な食生活」を実現するために

超高齢社会を迎えたわが国では、現在「病院・施設から在宅へ」という政策のもと、自宅で療養する人々が増加しています。こうしたなか、日清医療食品では、「栄養バランスのとれた、おいしく、食べやすい食事」を求める人々のニーズに応えるために2012年4月、医療・福祉施設で培ったノウハウを活かした食事を自宅までお届けする新規事業「食宅便」サービスを開始しました。